

2022 年度 青年研修事業 企画書の記載内容

以下の項目に関して順次記載し、A4 版用紙に 5 枚程度にまとめた提案とする。

1 問題認識

対象国の対象分野の現状の問題点及び課題

2 達成目標

上記の問題及び課題を踏まえて、本コースが研修をとおして達成すべき目標

3 プログラム編成方針（参加者資格要件の設定を含む）

上記目標を達成するために研修プログラムで編成すべき研修カリキュラムの方針。オンライン研修の効果的・効率的導入方法についても触れる。

4 具体的日程案と成果

研修プログラムの具体的日程案と個々のカリキュラムで期待される研修成果

5 応募機関の専門的能力

(1) 対象国（地域）

当該受入国（地域）から研修員を受入れるに当って特筆すべき知見・経験

(2) 対象分野

受入分野に関して、研修プログラムを受託するに当って特筆すべき知見・経験

6 実施体制

業務従事者（業務総括者、事務管理者等）の実施体制

（業務従事者、業務総括者等については、対象国又は対象分野に係る知見・経験及び契約業務全般に関する知見・実績、研修業務に関する知見・実績）

7 類似の研修受入実績

本コースの専門分野に関し、類似の研修を実施した過去 5 年間の実績

以上